

小松島市 議会だより

Seventeen

112号



クイズ

下のモニュメントのある公園はどこでしょう。
3つの中から選んで下さい

- ① ステーションパーク
- ② しおかぜ公園
- ③ たぬき広場



応募資格

市内在住の市民の方、年齢制限はありません。

※答えを書いてはがきに住所・氏名・年齢を記入
抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!

(当選者の発表は賞品の発送を以てかえさせていただきます。)

あて先

〒773-8501

小松島市横須町1番1号 小松島市議会議務局 宛
(締切日2月28日消印有効)

前回の答え ② 30億円

ゆだてしんじ

湯立神事

てんおうしゃ

田野町

天王社

田野町にある天王社で1月15日、湯立神事があった。神前で正月のしめ飾り等を燃やして沸かした湯に巫女が両手に持ったササを浸して勢いよくふりまいた。この湯を浴びると病気や災難に遭わないとされる行事である。

目次

常任委員会報告(12月)	2~3	賛否表	10
一般質問(12月定例会議)	4~9	市議会よりおしらせ	12

常任委員会報告

総務常任委員会

安平 剛之 委員長

条例案7件を可決

本委員会に付託された議案第87号、第93号までの7件を審議した。活発な議論の結果、いずれも原案のとおり可決した。なお、付託された議案は議員の賛否表（10頁）のとおりである。

◆所管事項での質問◆

吉見 12月1日に行われた懲戒処分の詳細は。

答 文書の紛失があり、いろいろ調査したが、誤廃棄したと考えられる。重要な書類も含まれていたことから管理責任というところで戒告処分となった。

吉見 失った書類は再現できるのか。

答 県へ再交付していたように努めている。

吉見 課長より上の処分はないのか。

答 当時の担当主事、部長とも退職しており、処分ができない。

池淵 紛失した書類には補助金に関係するものもあったと聞くが、補助金返還の懸念はないのか。

答 県にも文書が残っており、本市にも県の決定通知等が残っている。また相手先にもあるので、コピーをして再現しておけば返還を求められることではないと認識している。

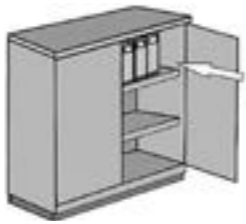
とはないと認識している。

出 紛失書類の中には補助金対象者の氏名・住所・金額等の個人情報に記載されていた。書類がなくなったことは情報が漏れたということではないのか。

答 個人情報が入っていた方に対して、お詫びを兼ね報告を行うよう指示した。

出 文書管理の方法を抜本的に見直す考えは。

副市長 改めて会議を開き、文書主任を中心に文書管理について徹底するよう指示する。



産業建設常任委員会

前川 英貴 委員長

農業委員会委員、農地利用最適化推進委員定数条例を制定

本委員会に付託された議案第94号、第96号、第97号の3件を審議した。審査の結果、いずれも原案のとおり可決した。

◎議案第94号

特別職の職員等で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

武田 鳥獣被害の対策について、市が購入している檻17基を猟友会に貸し出して、冬場、狩猟期間にも開けるようにしてはどうかと提案したが、その後どうなったのか。

答 猟友会に貸し出す方向で協議している。

小松島市農業委員会の委員及び小松島市農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

◎議案第97号

小松島市農業委員会の選挙による委員の定数条例等を廃止する条例について



予算決算常任委員会

出口 憲二郎 委員長

補正予算案6件を可決

本委員会には議案第81号、第86号が付託された。総務、文教厚生、産業建設の各部門に分かれた予算審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決した。

◎議案第81号

平成28年度小松島市一般会計補正予算(第2号)

◎議案第82号

平成28年度小松島市競輪事業特別会計補正予算(第1号)

◎議案第83号

平成28年度小松島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◎議案第84号

平成28年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◎議案第85号

平成28年度小松島市介護型サービス運営委員の

文教厚生常任委員会

米崎 賢治 委員長

医療費助成事業、対象年齢を12歳から15歳までに引き上げ

本委員会には、議案1件、陳情3件が付託され、審査の結果、議案については原案のとおり可決、陳情3件については後記のとおり。また、報告1件について、詳細な説明を受けた。

◎議案第95号

小松島市子どもはぐくみ医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例については、医療費の助成事業の対象年齢を12歳から15歳までに引き上げるものである。

◎陳情第3号

地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情については、挙手採決の結果、採択に決した。



答 医療費の助成として2500万円、レセプト審査に係る事務費として160万円程度を見込んでいる。

◆所管事項での質問◆

廣田 4月に開校した小松島南中学校で雨漏りがあったと聞いたが、どのような対応を行ったのか。

答 雨漏りがあったと思われる箇所について、再シーリング施工のやり替え等を実施した。

北野 高齢者免許自主返納者に対するバス運賃の割引内容は。

答 運転免許証自主返納者に対して運転経歴証明書を発行し、これを持ってバスに乗ると乗車賃が半額になるという制度がこのたび始まる。市内の主要幹線については、対応している。

◆議案に対する質疑◆

佐野 子どもの医療費助成引き上げに伴う経費について、どの程度の増大を見込んでいるのか。

答 内容は。地域密着型サービスとは、小松島市民の方は小松島市内の事業所で介護を受けてくださいという制度である。グループホームの運営会社等を市が指定する形になっており、市内にあるグループホームについては地域密着型サービス運営委員会に諮り、承認をいただいた上で、事業所の指定の更新や、新規指定をしている。

◆議案に対する質疑◆

吉見 中学校管理事業における光熱費の補正が大きい理由は。

答 施設の光熱水費の予算上については前年度の実績からの見込みとなる。今回、南中学校がこの4月から開校し、旧の立江・坂野中学校とはかなり年代も違い、設備面について相違もあったため、従来の補正と比べ金額が多くなっている。

佐野 介護保険の地域密着型サービスの運営委員の

平成28年度小松島市介護型サービス運営委員の

市政 Q&A

一般質問・発言要旨

質問者名	件名
佐野 善作	地域経済振興について
	高齢者介護・福祉政策について
池淵 彰	小松島市都市計画区域について
	徳島小松島港赤石地区埠頭について
	中小企業振興条例制定に向けて
	葬斎場に係る維持管理運営業務の指定管理者募集のあり方について
前川 英貴	改正年金機能強化法が成立をしたことについて
	障がい者への支援について
吉見 勝之	市民参加型の都市づくりについて
	性同一性障害について
	食品ロスの減について
高木 幸次	防災・減災対策について
	小松島市の将来像について
	本市の農業振興について
廣田 和三	広域ごみ処理施設の整備について
	小松島市第6次総合計画について
	小松島市の農業振興について
松下 大生	小学校の再編計画について
	住宅リフォーム助成について
	都市計画について
北野 恒男	防災について
	新公会計制度について
	広域ごみ処理施設について
	水道事業について
	スポーツの振興について

中小企業振興基本条例 制定に向けた取り組みは

みらい政策クラブ 佐野 善作 議員

答 3月定例会議で、議会への
条例案上程を目標としている



線引き制度を廃止し、新たな まちづくりを行わないのか

創明会 池淵 彰 議員

答 現行制度のまま、線引き
制度の存続は必要である



佐野 条例制定への取り組み状況は。

産業振興課長 庁内に検討会議を設置し、10月に事業所を対象に商工会議所の協力を得ながらアンケート調査を実施した。11月には、事業所に訪問してご意見を伺った。12月5日から28日までパブリックコメントを実施中である。年明けには、再度検討会議を開催し、検討を加える。

佐野 当事者の中小企業者や住民、有識者を交えた策定委員会をつくるべきではなかったか。

産業振興課長 まずは早期の条例制定を優先し、事業者や市民に市の姿勢をお示ししたかった。

佐野 中小企業振興に関する市長の考えは。

市長 中小企業振興は市民生活の向上と地域経済の活性化など、地域の発展に重要と考えており、地域全体で振興に向けた施策に取り組んでいく。

高齢者介護・福祉政策について

介護福祉課長 団塊の世代が75歳以上になって

も、住みなれた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいの各サービス

が一体的、包括的に提供する地域包括ケアシステム構築を目指し、地域における支え合いの仕組みづくりを推進するためである。

佐野 新しい総合事業とどのようなものか。

介護福祉課長 要支援1及び要支援2に該当する高齢者に対する訪問介護と通所介護が地域支援事業に、平成29年4月に移行される。

佐野 サービスの移行は可能か。

介護福祉課長 まずは原則として可能な範囲で現行のシステムを踏襲し、



混乱を回避する。生活援助のサービスについては、先進自治体の取り組み状況も研究しながら平成29年度以降において事業内容の検討を進める。

佐野 高齢者支援について市がリーダーとなつて連絡協議会をつくつてはどうか。

保健福祉課長 地域包括ケアシステムの構築に向けて、事業、施策を効果的に実施しながら、しっかりと補完する体制整備を進めていく。

池淵 市長は市議会議員であった平成24年3月、都市計画の線引き廃止を議会から求める意見書に賛同されていた。それから約4年半が過ぎ、その方向性を決めるべきときに来ていたのではないかと。先の9月定例会議で質問した際、平成28年12月の時点で判断をしたいというのであったが、今期12月定例会議における市長の考えとして、今の都市計画の中で進めるのか、新たな方向性で線引きを廃止したま

ちづくりをしていくのか、どちらを選択されるのか。

市長 現時点において、線引き制度は都市基盤を法的に整備し、計画的に市街地を形成した上で都市構造をある程度コントロールできるものであることから、線引き制度の存続は必要であると考える。

葬斎場の指定管理者募集のあり方について

池淵 選定基準の選定方法の中に、応募するグループが1者の場合であっても、資格要件を満たしている場合は、このプロポーザルを実施するとある。1者では、競争性・公平性が働かないと思うが。

市民生活課長 今回の選

定は、公募という形をとっており、競争の担保という意味では、そもそも誰もが応募する機会を確保、提供をしている。結果として応募が1者であったとしても、選定に参加する機会を設けているため、公募の時点で競争性は十分担保できているものと考えている。



建設中の葬斎場

改正年金機能強化法の 成立で市としての対応は

新生クラブ 前川 英貴 議員

答 広報誌やホームページ等を
活用し、周知を図る



前川 法律の成立により、国民年金等の受給資格がこれまでの25年から10年に短縮され、平成29年10月から年金が受給できるということであるが、対象となる方への対応は。

生活福祉課長 新たに46人が対象となり、今後、受給手続をしていく必要がある。

前川 10年間の加入期間で国民年金の保険料をすべて納めた場合は、年間で約19万円程度の年金が支払われると聞いています。対象となる方、全てが受給できるよう要請する。

進研修・啓発事業として、プレイバックシアターの上演を実施し、平成28年度は障がい者の作業所巡りバスツアーを実施する等、障がい者への理解の促進に努めている。今後も、事業内容の充実に取り組んでいきたい。



広域ごみ処理施設建設候補地 を再度協議できないか

大互クラブ 高木 幸次 議員

答 現候補地への立地で
協議を進めていきたい



高木 候補地が徳島市に決まった経緯は。

利用するシステムの検討がされると考える。

市民生活課長 3つの視点で評価を行い、比較検討した結果を各首長で協議し、決定された。

水道部長 本市の水道水は深さ30メートルの井戸から地下水を汲み上げており、直接影響を与えないと考える。

政策監 そういうことが起きないよう、関係市町村と対応していく。

高木 施設を海岸沿いまで持つてくるという方向で考え直すべきでは。

高木 平成27年国勢調査では、人口が4万人を割り込み、税収確保が困難と考えられる中で、5年後、10年後の財政見直しは。

和田島大手海岸の 防災・減災対策は

やまももクラブ 吉見 勝之 議員

答 県と連携し防災・減災対策
の推進に努める



吉見 南海トラフ巨大地震の発生確率は30年以内に70%とその確率は年々高くなっている。和田島大手海岸の防災・減災対策は。

県と連携し防災・減災対策の推進に努める。

性同一性障害、LGBTIQへの取り組み



和田島大手海岸の堤防補強工事

産業建設部長 4基目となる大規模突堤の整備が進められており、和田島町字外開地先では陸側の堤防補強工事に着手し

吉見 多様化、高度化する市民ニーズに対応するために、市民共働による取り組みが必要不可欠である。スマートフォンを活用し、市民からの意見を収集しては。

人権推進課長 講演会では、まず知ってもらうことが重要であるとの講師の助言があった。本市としても、一人一人の個性や違いを認め合い、誰もが生きがいを持てる社会の実現に向け、研修や講演会、広報誌などの機会を通じて職員や市民に周知し啓発の推進に努め

食品ロス対策に 30・10運動を

吉見 食品ロス削減対策の一つに、宴会開始後30分間と終了前10分間は席に座って料理を食べる運動があるが、市の食品ロ

スへの取り組みは。削減への試みの一つとして認識している。環境部門との調整を行い、食品ロス対策、ごみ減量化に向けた普及啓発の一環としてホームページ等での周知などを検討する。



農業振興への 取り組みは

高木 新規就農及び担い手育成への取り組みは。



財政課長 当面は人口減少により市税や地方交付税等の収入は減少基調で推移すると考えられる。

産業振興課長 新規就農の支援施策として「青年就農給付金制度」、「青年等就農資金制度」、「就農定住支援事業」、担い手の支援策として「経営体育成支援事業」等があり、こうした国や市の助成制度等を活用しながら、きめ細かい新規就農、担い手の育成・支援を行って

高木 今後の人口減少を見据えての市町村合併を検討しては

市長 合併特例債等の有利な地方債や普通交付税の特例措置などの優遇措置も一部を除いて廃止されており、合併による財政・制度的なスケールメリットがなく、合併の考えはない。

小学校再編計画の進捗状況は

新風はなみずき 廣田 和三 議員

答 諸問題について
順次整理検討している



廣田 28年度における小学校再編の進捗状況は。教育政策課長 複数の小学校を統合して新設するという計画があるが、諸問題について検討が必要であり、現在、順次整理検討中である。29年度以降も検討を進め、小学校再編に関する一定の方向性を見出ししていきたい。

第6次総合計画の施策は

廣田 小松島市第5次総合計画で示された目標数値達成率は。秘書政策課長 小松島市第5次総合計画の前期計

化する消費者のニーズに合わせた米の生産販売支援、大都市圏での商談会や物産展に積極的に参加し、販路開拓を行っている。6次産業支援事業で市内の農林水産物の商品開発の支援をさらに拡大したい。



大林地区 ほ場整備

新公会計制度の進捗状況は

やまももクラブ 北野 恒男 議員

答 本年度末までに
システムを導入する



北野 システムの構築にかかる導入費用は。財政課長 固定資産台帳の整備に、27、28年度の2カ年で1077万8400円。システム導入費用に、652万5000円を計上している。
北野 今後、市の行財政運営に、どのように活用するのか。政策監 統一的な基準に

よる財務書類等が作成されることにより、地方公共団体間での比較が可能となり、予算編成や行政評価等へ活用できる。また、公共施設等の減価償却累計額の割合を算出することで、市の資産の老朽化度の把握が可能となり、老朽化対策の優先順位を検討する参考資料にもなる。

開発許可の権限移譲を

創生クラブ 松下 大生 議員

答 課題の解消に向け、
引き続き研究を重ねたい



松下 現在、徳島県の各自治体のうち、つるぎ町、徳島市、阿南市が開発許可に関する事務の全部を県より権限移譲を受けている。開発許可の権限移譲を受け、規制緩和をする条例を制定すれば、自治体独自のまちづくりができる。また、市において緩和する場所は緩和して、調整区域の持つ役割を担っていくようなところをはっきりと規制する施策をとる必要があると考える。本市は、この開発許可の権限を受けていないが、これまでどのような経緯となっているのか。

備えた公園を整備すべきだと考えるが。まちづくり推進課長 今後の金磯地区、横須地区も含め、公園施設等の整備については、社会構造の変化への対応が求められていることや財政的な制約等もあるが、緑の基

本計画に掲げた方針と金磯地区基本計画との整合を図り、整備に当たっての課題の抽出、検討を行う必要があると考えている。



る人材の育成確保、さらには財政等、権限移譲を受けるための解消すべき課題と認識しており、これらの課題の解消に向けた取り組みについて、引き続き研究を重ねたい。

避難施設整備を

松下 避難困難地域の金磯町、横須町の一部は、緑の基本計画においても、防災レクリエーション施設または公園緑地等の整備検討地域となっていることから、市の財源だけでなく、国の補助金など活用できるものを精査し、早期に防災機能を

水道事業について

北野 耐震化の進捗状況

水道部参事 平成24年度から進めている老朽管更新事業で、約17キロメートルを耐震管に敷設替、総延長261キロメートルのうち、32.5キロメートルを耐震、耐震化率は12.5%である。
北野 水道料金の改定の考えは。

水道部長 小松島市水道事業経営等審議会において、一定程度の値上げはやむを得ないとの意見が示されていることから、水道料金の条例の改定を念頭に、作業を進めてい



和田津橋水管橋耐震化工事

スポーツ振興について

北野 スポーツ振興への取り組み状況は。

生涯学習課長 市体育大会・駅伝大会・なわとび大会・クロスカントリー大会等の支援、スポーツの環境づくり等の周知を図っている。
北野 ランニング人口の



第38回 小松島市民駅伝

拡大、利便性の向上のため、更衣室やロッカーを備えた簡単なランニングステーションを設置しては。
生涯学習課長 他市の状況を鑑みながら、スポーツ振興の一環として研究していく。

議員の賛否表 (平成 28 年 12 月定例会議)

議案等	議員名 (議席番号順)															
	松下大生	四宮祐司	高木幸次	米崎賢治	池淵彰	片田真弓	杉本勝	前川英貴	廣田和三	北野恒男	吉見勝之	武田清	出口憲二郎	安平剛之	佐野善作	宮崎欽司
第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第85号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第86号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第90号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第93号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第94号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第95号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第96号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第97号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第98号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第99号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第100号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●
陳情第4号※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第5号※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※陳情第4号、陳情第5号については、委員長報告（不採択）に対する賛否
○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（井村保裕）は、採決には加わりません。

委員会視察報告

議会改革特別委員会

◎視察先 愛知県知多市/日進市
◎視察日 平成28年11月15日(火)
16日(水)

出席者

委員長 安平剛之
副委員長 池淵彰

委員

出口憲二郎 高木幸次
吉見勝之 米崎賢治

議員

四宮祐司 松下大生
杉本勝 廣田和三

議長

井村保裕

目的

本市の議員報酬及び費用弁償等に関する条例には、欠席・懲罰議員に対する議員報酬の取り扱いに関する規定がなく、条例制定に向けて、調査・研究を行うため、条例制定をしている愛知県日進市（平成26年条例制定）、愛知県知多市（平成27年条例制定）において視察調査を行った。

視察概要

条例制定の経緯や背景については、県内他市において議員が逮捕され、長期間議会に出席できなかった等の事実があった。「長期欠席により議員活動ができないにもかかわらず報酬が支払われることは、市民感情を考えると受け入れ難いのではないか。」との議員からの意見があり、条例制定の運びとなった。また、制定に至るまでの協議や、実際の運用等について詳細な説明を受けた。

文教厚生常任委員会

◎視察先 岸和田市貝塚市クリーンセンター/豊中市伊丹市クリーンランド

出席者

委員長 米崎賢治
副委員長 四宮祐司

委員

宮崎欽司 佐野善作 武田清
北野恒男 高木幸次 杉本勝

議員

片田真弓 廣田和三 松下大生

議長

井村保裕

目的

ごみ焼却施設の広域連合での取り組みを見据え、先進的かつ広域連合で取り組まれている2施設において視察調査を行った。

視察概要

両施設とも国の基準より厳しい独自基準を設け、周辺環境に対して十分に配慮された設備であった。また、リサイクルセンターを併設しており、リデュース(減量)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再利用)などの啓発活動を行っていた。特に、施設への理解や信頼を得るため、施設稼働後も年に1度は地元への説明会の実施や、見学を前提とした施設設計により、小学生の社会科見学に活用してもらうなど、施設の管理運営に対する透明性の確保やごみ減量への啓発活動を兼ねた取り組みが行われていた。



豊中市伊丹市クリーンランド施設模型

意見書

1件を関係大臣に送付しました

◎地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書



大募集!!

「議会だより」表紙写真

次号より議会だよりの表紙に掲載する写真を募集します。
みなさまの応募をお待ちしています。

- 【テーマ】「2017年5月5日発行の議会だより表紙にふさわしい、とっておきのコマ」
- 【応募資格】市内在住・在勤・在学の方
- 【応募方法】応募用紙に必要事項をご記入の上、写真(A4版)とデジタルデータを添え、市役所2階議会事務局までご提出ください。なお、ご提出いただきました写真および記録媒体は返却いたしません。デジタルデータはCD-R等にコピーしてご提出ください。
応募用紙は議会事務局にございます。または議会ホームページからダウンロードしてください。
- 【応募規定】応募作品については本人が撮影した未発表のものに限ります。被写体に人物、会社、個人の所有物などが入る場合は、その旨了承を得た上でご応募ください。
応募者多数の場合は広報委員会で掲載作品を1枚選定します。なお、応募写真の著作権は市議会に帰属し、ご提出いただきました作品は返却いたしません。選考結果の報告はいたしませんので、ご了承ください。
- 【応募締切】4月10日(月)必着
- 【その他】ご応募いただいた作品について、市役所での展示を計画中です。
- 【応募先】〒773-8501 小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局 宛 ☎ 32-1359

発行／小松島市議会 議長 井村保裕

ふれあい市議会コンサート出演者募集!

議場の耐震工事完了に伴い、3月定例会議より
ふれあい市議会コンサートを再開いたします。

出演のお問い合わせは、小松島市議会事務局まで ☎ 32-1359

編集／議会広報特別委員会 委員長 出口憲二郎



徳島駅伝 女子区間 (小松島市再スタート)



消防出初式 祝賀放水

委員長	出口憲二郎
副委員長	前川英貴
委員	佐野善作
委員	吉見勝之
委員	片田真弓
委員	廣田和三
委員	四宮祐司
委員	松下大生

編集委員

編集委員 佐野善作

徳島駅伝総合第三位(銅メダル獲得)と小松島市にとって、さい先のよい新年のスタートとなりました。

濱田市長も再選されました。本市には、防災・減災対策、高齢化、少子化、市活性化等、問題が山積みとなっており、議会として、厳しく行政をチェックするとともに、政策提言を積極的に行い、市民生活の向上のために頑張る決意をいたしております。

本年も議会だよりを通じて、議会情報を皆さまに詳しくお伝えいたします。

編集後記